



平成 29 年 11 月 1 日

各 位

会 社 名 ホリイフードサービス株式会社

代表者名 代表取締役社長 飯田 益弘

(コード番号 3077)

問合せ先 取締役経営管理本部長 大貫 春樹

電 話 (029) 233-5825

## 特別損失の計上、第 2 四半期累計期間業績予想と実績との差異、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年 3 月期第 2 四半期累計期間において計上しました特別損失の概要をお知らせすると共に、平成29年5月 8 日に公表いたしました第 2 四半期累計期間業績予想と実績との差異、及び通期業績予想の修正を下記によりお知らせします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生及びその内容

##### (1) 固定資産除却損

当第 2 四半期累計期間において当社が保有する固定資産の一部について、設備の改修及び老朽化による固定資産の買換えに伴い、「固定資産除却損」1,023 千円を特別損失に計上いたしました。

##### (2) 減損損失

当第 2 四半期累計期間において営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗等（みんなの和食村大田原店他 29 店舗）について帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額（275,054 千円）を「減損損失」として特別損失に計上いたしました。

##### (3) 店舗閉鎖損失引当金繰入額

当第 2 四半期累計期間において閉鎖を決定した店舗（忍家春日部店他 12 店舗）に対し、閉鎖に伴い発生が見込まれる損失額 36,405 千円を「店舗閉鎖損失引当金繰入額」として特別損失に計上いたしました。

#### 2. 第 2 四半期累計期間業績予想と実績との差異について

平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)業績予想数値との差異（平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	3,172	△72	△155	△413	△72 円 98 銭
実績 (B)	3,232	12	△82	△403	△71 円 09 銭
増減額 (B - A)	59	85	72	10	—
増減率 (%)	1.9	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	3,613	△72	△72	△448	△79 円 04 銭

### 3. 通期業績予想の修正について

平成30年3月期通期業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,553	107	25	△243	△42円88銭
今回修正予想 (B)	6,650	140	46	△314	△55円39銭
増減額 (B-A)	96	33	20	△70	—
増減率 (%)	1.5	31.0	79.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	7,292	61	44	△502	△88円69銭

#### （業績予想の修正理由）

平成30年3月期の業績予想につきましては、新規顧客獲得を目的とした広告宣伝の強化により既存店舗の売上は改善が見えてまいりました。また、業績不振店舗の対策につきましては、これまでは存続を前提として業態変更等による業況改善を図ってまいりましたが、当事業年度においては損失の切り離しを最優先として計画を大幅に上回る店舗閉鎖を進めております。

また、営業成績にかかる報奨制度の拡充や店舗運営力の改善に資する複数の施策による個々の店舗業績の向上を図っております。

以上により、店舗数は減少しておりますが、既存店舗の売上改善及び営業利益の改善が見込めるものと考えております。

しかしながら、全社的な業況改善が進む一方、個々の店舗業績においては大幅な改善が見込めない店舗が依然として存する状況にあります。よって、期末にかけて特別損失の追加計上が予想されますので、当期純利益は当初計画を下回る見込みであります。

よって、平成29年5月8日に公表しました平成30年3月期第2四半期累計期間及び平成30年3月期通期の業績予想を修正いたします。

（注）業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上